

JIS制改正中長期計画

№	JIS番号	制改正年	JIS規格名称	対応ISO	2022実績 官報公示 E制定 R改正 C確認 W廃止	2023-2027年度					備考		
						2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度			
1	M 8202	2021	鉄鉱石一分析方法通則	なし					○				
2	M 8205	2000	鉄鉱石一蛍光X線分析方法	なし			○				定期見直し 確認予定 [ISO情報:ISO9516-2(単元素検査線法)制定WG54 活動中。部編成規格として制定する。]		
3	M 8206	2014	鉄鉱石一ICP発光分光分析方法	ISO 11535:2006 MOD		○				★◎	確認予定		
4	M 8207	2013	鉄鉱石一ナトリウム定量方法 (原子吸光)	ISO 13313:2006 MOD			○				追補改正 ISO 13313:2017 を反映		
5	M 8208	2013	鉄鉱石一ナトリウム定量方法 (追補1)				○				追補改正 ISO 13312:2017 を反映		
6	M 8210-1	2023	鉄鉱石一カリウム定量方法 (追補1)				○				追補改正 ISO 13312:2017 を反映		
7	M 8210-2	2023	鉄鉱石一コバルト定量方法-第1部:2-ニトロソ-1-ナフトール抽出分離吸光度法	なし		●					部編成規格として制定した。		
8	M 8211	2023	鉄鉱石一コバルト定量方法-第2部:原子吸光分析法	ISO 11533:2009 MOD		●					部編成規格として制定した。		
9	M 8212	2022	鉄鉱石一化合水定量方法-カールフィッシャー滴定法	ISO 7335:1987		●					改正(M 8250と表現を一致させる。)		
10	M 8212	2022	鉄鉱石一全鉄定量方法-塩化チタン(Ⅲ)還元ニクロム酸カリウム滴定法	ISO 9507:1990 MOD (廃止) → ISO 2597-2:2015	R2022.07						○		
11	M 8213	1995	鉄鉱石一酸可溶性鉄(Ⅱ)定量方法	ISO 9035:1989		◎	●				適用範囲下限値拡大及び共存元素の影響調査の実験は中止。		
12	M 8214	1995	鉄鉱石一けい素定量方法 (重量、吸光度)	ISO 2598-1:1992,ISO 2598-2:1992		◎	●				部編成制定予定		
13	M 8215-1	2006	鉄鉱石一マンガン定量方法-第1部:原子吸光法	ISO 9682-1:1991 (2009改訂)						★◎	●		
14	M 8215-1	2022	鉄鉱石一マンガン定量方法-第1部:原子吸光法 (追補1)		R2022.07						追補改正(許容差)		
15	M 8215-2	2006	鉄鉱石一マンガン定量方法-第2部:過よ素酸吸光度法	ISO 3886:1986 (2006廃止)						★◎	●		
16	M 8216	2021	鉄鉱石一りん定量方法-モリブドリン酸吸光度法	なし ⇒ ISO 4687-1:1992 MOD		◎	●				ISO4687-1:1992を附属書に規定する。		
17	M 8217-1	2020	鉄鉱石一硫黄定量方法-第1部:鉄抽出分離硫酸バリウム重量法	ISO 4689:1986				○					
18	M 8217-2	2020	鉄鉱石一硫黄定量方法-第2部:熱分解-よう素酸カリウム滴定法	ISO 4689-2:2017				○					
19	M 8217-3	2020	鉄鉱石一硫黄定量方法-第3部:高周波誘導加熱-赤外線吸収法	ISO 4689-3:2017				○					
20	M 8218	1997	鉄鉱石一銅定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO 4693:1986 (2006廃止) → ISO 5418-2:2006 (吸光度) ISO 5418-1:1994 IDT → 2006 (吸光度)						★◎	●	部編成規格として制定する。制定時、M8218は 廃止となる。	
21	M 8219-1	2012	鉄鉱石一チタン定量方法-第1部:原子吸光法	ISO 8219:1995							○		
22	M 8219-1	2022	鉄鉱石一チタン定量方法-第1部:原子吸光法 (追補1)		R2022.07						追補改正(許容差)		
23	M 8219-2	2012	鉄鉱石一チタン定量方法-第2部:ジアンチピリルメタン吸光度法	ISO 4691:2009							○		
24	M 8220	1995	鉄鉱石一アルミニウム定量方法 (滴定、原子吸光)	ISO 4688-1:1992 IDT (原子吸光) ISO 6830:1986 IDT (滴定法)		◎	●				部編成規格として制定する。ISO 4688-1:2017の反映		
25	M 8221-1	2018	鉄鉱石一カルシウム定量方法-第1部:共存元素分離しゅう酸カルシウム沈降分離過マンガン酸カリウム滴定法	なし			○				確認		
26	M 8221-2	2018	鉄鉱石一カルシウム定量方法-第2部:共存元素分離エチレンジアミン四酢酸二水素ナトリウム滴定法	なし			○				確認		
27	M 8221-3	2018	鉄鉱石一カルシウム定量方法-第3部:原子吸光分析法	ISO 10203:2017 MOD			○				確認		
28	M 8222-1	2018	鉄鉱石一マグネシウム定量方法-第1部:共存元素分離エチレンジアミン四酢酸二水素ナトリウム滴定法	なし			○				確認		
29	M 8222-2	2018	鉄鉱石一マグネシウム定量方法-第2部:原子吸光分析法	ISO 10204:2017 MOD			○				確認		
30	M 8223	1997	鉄鉱石一ニッケル定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15633:2015 (原子吸光) トフェリー法ではない						★◎	●	部編成規格として制定する。制定時、M8223は 廃止となる。	
31	M 8224	1997	鉄鉱石一クロム定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15634:2015 (原子吸光) 制定						★◎	●	部編成規格として制定する。制定時、M8224は 廃止となる。	
32	M 8225	1997	鉄鉱石一バナジウム定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO 9683:9683-1 (吸光度) :2006 ISO 9684:9683-2 (原子吸光) :2009		○	★◎	●			暫定確認		
33	M 8225	2013	鉄鉱石一バナジウム定量方法 (追補1)				★◎	●					
34	M 8226	2006	鉄鉱石一ひ素定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO 7834:1987 IDT (吸光度) ISO 17992:2013 (水素化物発生)							○		
35	M 8226	2022	鉄鉱石一ひ素定量方法 (原子吸光) (追補1)	ISO 7834:1987 IDT (吸光度) ISO 17992:2013 (水素化物発生)	R2022.07						追補改正(許容差)		
36	M 8227	1997	鉄鉱石一すず定量方法 (吸光度、原子吸光)	ISO/DIS 11534:1996 (原子吸光) → 2006改正						★◎	●	確認	
37	M 8228	1997	鉄鉱石一亜鉛定量方法 (滴定、原子吸光)	ISO 8753:1987 (廃止) IDT ISO 13310:1997						★◎	●	確認	
38	M 8229	1997	鉄鉱石一鉛定量方法 (原子吸光)	ISO 8753:1987 (廃止) IDT ISO 13311:1997						★◎	●	確認	
39	M 8230-1	2023	鉄鉱石一ビスマス定量方法-第1部:鉄抽出分離より化合物吸光度法	なし		●						部編成規格として制定した。	
40	M 8230-2	2023	鉄鉱石一ビスマス定量方法-第2部:鉄抽出分離原子吸光分析法	なし		●						部編成規格として制定した。	
41	M 8250	2015	鉄鉱石一分析用試料の吸湿度定量法-重量法、カールフィッシャー滴定法及び減量法	ISO 2596:2006 MOD									
42	M 8250	2021	鉄鉱石一分析用試料の吸湿度定量法-重量法、カールフィッシャー滴定法及び減量法 (追補1)	ISO 2596:2006 MOD								追補改正。カールフィッシャー-電量滴定法の追補改正	
43	M 8514	2003	鉄鋼用ほたる石一分析方法	ISO 4283:1993, 他7規格					○			確認予定(炭石は使用していない?)	
44	M 8700	2013	鉄鉱石及び還元鉄-用語	ISO 11323:2010	C2022.06		★	◎	●			M3規格次第	
45	M 8702	2019	鉄鉱石一サンプリング及び試料調製方法	ISO 3082:2017			○	★	◎	●		鉄鋼業界法取込み、ロット大型化、落下強度試験追加 2016年4月改正も、ISO3082改正に伴い2019年再度改正	
46	M 8704	2015	鉄鉱石一ロットの質量及び品質特性値の決定方法	なし		◎	●					鉄鋼業界法取込み 2015年5月制定 2023年全体内容精査し改正	
47	M 8705	2021	鉄鉱石一ロットの水分決定方法	ISO 3087:2020						★	◎	鉄鋼業界法を取込み2015年5月改正も、ISO3087改正 に伴い2021年7月改正	
48	M 8706	2022	鉄鉱石及び還元鉄-ふるい分けによる粒度分布の測定方法	ISO/4701:2019	R2022.07							○	鉄鋼業界法取込み 2015年5月改正も、ISO4701改正 に伴い2022年再度改正
49	M 8707	2004	鉄鉱石一品位変動評価実験方法	ISO 3084:1998	C2023.06	★	◎	●				2023年6月確認	
50	M 8708	2021	鉄鉱石一サンプリング、試料調製及び測定精度を確認する実験方法	ISO 3085:2019								○	ISO 3085改正に伴い2021年3月改正
51	M 8709	2023	鉄鉱石一サンプリングの偏りを調査する実験方法	ISO 3086:2005		●							
52	M 8711	2023	鉄鉱石焼結鉄一落下強度試験方法	なし		●							
53	M 8712	2022	鉄鉱石一回転強度試験方法	ISO 3271:1995	R2022.07							○	
54	M 8712	2022	鉄鉱石一回転強度試験方法 (追補1)										
55	M 8713	2021	鉄鉱石一還元性試験方法	ISO 7215:2015, ISO 4695:2015								○★	◎
56	M 8715	2009	鉄鉱石ベレット一膨れ試験方法	ISO 4698:1994		◎	●						ISO 4698改正に伴い(パウダー法採用)、改正
57	M 8716	1990	鉄鉱石ベレット一見掛密度及び気孔率の算出方法	なし				○★	◎	●			2020年確認。体系見直し(例えばM8719への統合)
58	M 8717	2017	鉄鉱石一密度試験方法	なし				★	◎	●			エタノール法、気体置換法(He)の取込み改正
59	M 8718	2022	鉄鉱石ベレット一圧かけ強度試験方法	ISO 4700:2015	R2022.07							○	次回改正時、鉄鋼業界法No.16取込み検討(解説)
60	M 8719	1990	鉄鉱石ベレット一体積測定方法	なし				○★	◎	●			2020年確認。体系見直し(例えばM8716への統合)
61	M 8720	2023	鉄鉱石一低還元性試験方法	ISO 4696-1,-2:2015		●							
62	M xxxxx		鉄鉱石一熱割れ試験方法	ISO 8371:2015		★	◎	●					ISO 8371改正後、2024-25年JIS化
63	M 8721	2020	鉄鉱石一比表面積測定方法	ISO 21283:2018					○	◎	●		ISO新規制定後(Blaine法)のJIS化
64	M 8722		鉄鉱石一LOI(強熱減量)定量方法-吸湿度補正-重量法	ISO 11536:2015									
						○	定期見直し						
						★	検討中(又は検討開始)						
						◎	三者委員会審議						
						●	制改正						
							三者委員会 審議案件	6	(6)*	(5)*	(7)*	(3)*	
													*検討中